

1. 実況上の着目点

- ① 大型で強い勢力の台風第25号は、中心付近の対流雲のまとまりが進み、勢力を強めて伊豆諸島から伊豆半島や関東地方沿岸に接近中。台風をとりまく暖湿気流と陸上からの冷氣流との収束が続く伊豆諸島北部では48時間500ミリを超えたが、台風の接近により非常に激しい雨が連続。レベル5土砂災害特別警報を発表。雨がいったん弱まった関東地方沿岸部の千葉県でも300ミリ超。再び強まってきている。
- ② 500hPa5760m付近のトラフが日本海から北日本に接近中。トラフ前面を組織的な雲域が北に盛り上がり、北日本で降水域が拡大。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の台風は、強い勢力を維持して北東に進み、21日夜にかけて伊豆諸島から伊豆半島や関東地方にかなり接近する。1項②のトラフとの結びつきは一時的で、温帯低気圧に変わるのは日本の東で北緯40度付近に達する22日夜。台風周辺を流れ込む下層暖湿気と1項②のトラフの影響で台風北側の降水が再び強まるとともに台風の接近により台風本体の対流雲がかかり、雷を伴い非常に激しい雨や猛烈な雨の降る所がある。伊豆諸島では21日夜にかけて土砂災害に最大級の警戒。東日本と東北地方の太平洋側では22日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒。東日本と東北では22日にかけて、大気の状態が非常に不安定で落雷、竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。関東甲信地方と東海地方では、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性がある。
- ② 台風の影響で猛烈な風が吹き、猛烈なしけや大しけとなる所がある。東日本太平洋側では21日は、うねりを伴う高波、暴風に厳重に警戒し、東日本と東北地方の太平洋側では22日にかけて、暴風、うねりを伴う高波に警戒。大型の台風により広い範囲で強い風が吹いているため、全国的に22日にかけて、うねりを伴う高波や強風に注意。
- ③ 台風が遠ざかった後は、23日にかけて東西に連なる高気圧に覆われて晴れる所が多くなるが、高気圧の南縁にあたる東・西日本の太平洋側を中心に湿った空気の影響を受けやすく、23日には500hPa 5820～5800mのトラフの接近に伴い、気圧の谷の紀伊半島沖で低気圧が発生し、北や北東に降水域が広がる。南西諸島では22日から24日頃にかけて気圧の谷が西進し、湿った空気の影響を受けやすい。
- ④ 500hPa 5640m付近のトラフの南下、接近に伴い、23日夜には日本海北部～オホーツク海の気圧の谷で前線が顕在化する。北海道地方では24日頃にかけて大気の状態が不安定になる所がある。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】

- ①雨量(18時からの24時間)：関東甲信 200、北陸・東北 100mm。②波浪(明日まで)：伊豆諸島 9、関東 8、東海 7、東北 6、近畿 5、その他広く 3～4m。

5. 全般気象解説情報発表の有無

「台風第25号」を17時頃に発表予定。